

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

資料5

平成 25年 ●月 ●日

協議会・構成員 備前市公共交通会議

備前市、住民・利用者代表、学識経験者(岡山大学大学院)

宇野自動車(株)、日生運輸(株)、県タクシー協会和気支部

JR西日本岡山支社、大生汽船株式会社、瀬戸内観光汽船株式会

事業名	調査事業の結果概要	調査事業実施の適切性		生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針
記載要領	【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C 評価	【調査事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】	【生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針(補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載)】
生活交通ネットワーク計画策定調査	・公共交通を取り巻く環境(地勢、人口、高齢化、施設配置、観光資源等)をGISを用いて整理した。 ・公共交通の現況(路線網、バス利用状況、収支率、交通空白地域、スクール利用、航路利用状況等)を整理した。 ・上記の現況調査の他、住民アンケートや民生委員アンケート、高校生アンケート、諸島地区アンケート、主要施設における利用者ヒアリング、関係者ヒアリング等の結果を踏まえ、地域の課題を整理し、効果的・効率的な公共交通体系への見直しを検討した。 ・その他、事業としてモビリティ・マネジメントや公共交通支援の仕組みづくり等の方向性を検討した。	A	地域内フィーダー系統確保維持事業の実施に向け、生活交通ネットワーク計画策定に必要な調査が実施できた。	平成25年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請を予定 (事業内容) ・吉永地域で運行されている市営バス和意谷線・三国東西線・八塔寺線について、調査結果に基づき、デマンド型乗合タクシーの導入を検討する(住民意見交換会を実施し、具体的な運行方法を検討) ・三石地区で交通空白状態にある地区について、新たにデマンド型乗合タクシーの導入を検討する(住民意見交換会を実施し、具体的な運行方法を検討)

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

平成24年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 備前市公共交通会議



備前市の概要

- 2005年に備前市、和気郡日生町、吉永町が合併
- 人口 38,144人（平成25年2月末現在）
- 面積 258.24平方キロメートル

備前市公共交通会議の構成員

備前市、住民・利用者代表、学識経験者（岡山大学大学院）
宇野自動車(株)、日生運輸(株)、県タクシー協会和気支部
JR西日本岡山支社、大生汽船株式会社、瀬戸内観光汽船株式会社

地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR山陽本線・赤穂線
- ・航路：大生汽船（日生港・日生駅前港～鹿久居島・鴻島・頭島・大多府）
瀬戸内観光汽船（日生駅前港～大部港）
- ・4条バス路線：宇野バス・備前片鉄バス・備前バス
- ・市営バス：三国東西線・和意谷線・圏域バス（試験運行中）

地域公共交通の現況



具体的な課題・問題点

- ・人口減少と高齢化への対応
- ・公共交通利用者の減少
- ・行政負担増への対応
- ・日生大橋（仮称）架橋後への対応
- ・周辺市町に拡散した移動（拠点地域の活性化）
- ・日常生活で利用しにくいダイヤとルート
- ・観光における公共交通の役割

調査事業の実施

調査事業の概要

- ・現況調査 ・住民アンケート調査（諸島地区以外）
- ・諸島地区アンケート調査 ・民生委員アンケート調査
- ・高校生アンケート調査 ・主要施設における利用者ヒアリング調査
- ・関係者ヒアリング調査（医療機関、商業施設、交通事業者等）
- ・課題の抽出 ・備前市地域公共交通計画の検討、作成

平成24年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 備前市公共交通会議

協議会における検討

- 公共交通会議の開催状況 5回開催
- ・第2回（8月29日）
地域公共交通計画策定調査事業の実施について
各種アンケート調査について
 - ・第3回（1月8日）
公共交通の現状と課題 見直しの方向性について
 - ・第4回（2月5日）
備前市地域公共交通計画【案】について
 - ・第5回（3月22日）
パブリックコメント・意見交換会について

地域住民の意見の反映

- ・ H24年9月に市内3,000世帯を対象にアンケート調査を実施し、1,228人より回答を得る（回収率40.9%）
- ・ H24年9月に市立病院等、市内の主要施設においてヒアリング調査を実施し、273人より回答を得る
- ・ H24年2月に計画案に対するパブリックコメントを実施
- ・ H24年2月に計画案に関する意見交換会を市内3カ所で開催
- ・ 平成24年10月～平成25年2月にかけて、離島でのアンケート調査・意見交換会を計4回実施

事業実施の適切性

- ＜計画どおり適切に実施＞
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持事業の実施に向け、生活交通ネットワーク計画策定に必要な調査が実施できた。

調査事業の結果の概要

- ・ 人口分布や高齢化の状況と、既存の公共交通サービスの状況等をGISで整理し、利用不便地域の状況を把握した。
- ・ 住民アンケート調査や既存の利用状況を整理することにより、地域の移動実態を把握し、都市計画との整合性や地域活性化等も考慮した効率的な交通体系の導入を検討した。



生活交通ネットワーク計画の計画策定に向けた方針等

平成25年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定

- ・ 吉永地域で運行されている市営バス和意谷線・三国東西線・八塔寺線について、調査結果に基づき、デマンド型乗合タクシーの導入を検討する（住民意見交換会を実施し、具体的な運行方法を検討）
- ・ 三石地区で交通空白状態にある地区について、新たにデマンド型乗合タクシーの導入を検討する（住民意見交換会を実施し、具体的な運行方法を検討）

※平成25年4月以降に、吉永・三石それぞれで住民意見交換会を開催し、具体的な運行計画を作成します。